

平成 28 年度 うさみの園居宅介護支援事業所 事業報告書

1. 事業運営の概況

- ・平成 28 年度は専任の介護支援専門員3名を配置し、特定事業所加算Ⅲの事業所として在宅介護の相談・支援、ケアマネジメント、認定調査を行い、地域住民に対し質の高いケアマネジメントが提供できるよう技術研鑽に励んだ。(内部、外部研修への参加、週一回居宅会議の実施、地域ケア会議への参加等)
- ・居宅専用公用車2台を使用し、必要時には迅速に対応できる体制を確保した。
- ・介護予防プランの委託や、困難事例の対応等の委託に対応し、各地域包括支援センターや行政機関、医療機関との連携も積極的に行った。
- ・伊東市及び他市町村から委託を受けた介護認定調査を行い、介護保険制度の一役を担えるよう対応した。

2. 事業計画の実施状況

(1) 資質向上

- ・職員については介護支援専門員の必須研修を始め、自主的に機会を捉えて各研修に参加し自己研鑽に努め、モチベーションのサポートも行った。
- ・困難事例等のケースについては、週一回の居宅会議内で事例検討会を行った。また、地域ケア会議に参加し問題の明確化や対応方法の検討等随時行い、援助技術の向上に努めた。
- ・来年度から伊東市では総合事業に移行していくため、情報を収集し制度理解に努められるよう随時勉強会を行った。

(2) 設備・環境の改善

- ・今年度も専用車2台の配置であった。車両不足の際は他事業部署と連携を取りながら法令遵守し安全運転に心掛けた。
- ・職場環境の定期的な整備・点検を行い今年度は書庫を購入し書類等の整理を行った。

(3) 会議・委員会

- ・施設職員として、施設内委員会や行事に参加し多職種との意見交換を行った。
- ・市内で行われている居宅介護支援事業所部会に積極的に参加し、地域ケアマネジャー間の情報共有やネットワーク作りを行った。
- ・伊東市介護認定審査会委員に事業所内職員が1名任命されており、約月1回の会議に参加した。
- ・地域包括支援センター開催の地域ケア会議に参加、依頼があれば事例を提供するなどし、市に対し社会資源の開発提言なども行った。

(4) 災害対策

- ・災害対策時は施設内のマニュアルに沿って行えるよう施設内訓練にも定期的に参加した。
- ・事故防止マニュアルに沿ってリスク回避を心がけ利用者様の安全確保を行った。

(5) 地域との連携

- ・保険者や地域包括支援センター、医療機関との連携を図り、地域の利用者様が住み慣れた場所での生活が継続できる地域包括ケアシステムの構築の一役を担えるよう努めた。
- ・地域ケア会議に参加し、地域の利用者情報の共有を図った。
- ・市や各事業所間との連携を図り地域ネットワークづくりの構築に努めた。